

interview

いざというとき、安心して医療・介護を受けられる地域になるように—



NPO法人 岩手中部地域医療情報ネットワーク協議会 副会長
 三浦 良雄 さん
 (花巻市医師会会長・三浦医院院長)

「いわて中部ネット」は、医療と介護を結び、患者さんの情報をひと続きに見ることのできるネットワークシステムです。患者さんはもちろん、医師の立場からも、このシステムの稼働は非常に有用です。

例えば、患者さんの既往歴や処方、検査内容などを確認できるので、今後の治療方針などの参考にすることができます。それにより良質できめ細かな医療が提供でき、患者さんにとっても大きなメリットになります。

2025年の少子高齢化社会を目前に医療と介護の連携が叫ばれる中、複数のかかりつけ医や介護施設に通われている方も多いと思います。「いわて中部ネット」にたくさんの市民の方に参加いただき、いざというとき安心して医療や介護を受けられるような地域になることを望みます。

FAQ. 疑問にお答えします

Q. どのような情報がやり取りされるの？

A. 氏名、性別、生年月日、住所などの情報やこれまでの診療、薬の内容、検査結果など、医療・介護に必要な情報です。

Q. 住民の参加にはお金がかかるの？

A. 住民の参加は無料です。

Q. どの施設が参加しているか知りたい。

A. いわて中部ネットに参加している医療機関は協議会ホームページに掲載しています。また参加医療機関には、いわて中部ネットのポスターを掲示します。



必要なサービスを提供するために

- ① れないときも安心です。
- ② リスクの軽減
ほかの医療機関での検査や薬の重複が少なくなります。
- ③ 災害時に
カルテやお薬手帳がなくてもデータが残るため、継続して治療や介護を受けられます。

■ 申し込み方法

住民参加申込書に必要事項を記入の上、参加医療施設または県立中部病院1階受付ブースに持参していただくか、協議会事務局に郵送してください。

※住民参加申込書は参加医療施設に設置するパンフレットに同封するほか、協議会ホームページに掲載しています

医療・介護の情報をつなぎ、切れ目なく質の高い医療とケアを

医療や介護の情報を共有し、地域全体で住民の健康を見守るシステムが「いわて中部ネット」(岩手中部地域医療情報ネットワークシステム)です。

△ケアセンター
 申し込みをすることで、いわて中部ネットに参加できます。



データサーバー
 氏名、性別、生年月日、住所のほか、これまでの薬の内容や検査結果などを記録。強固なセキュリティーを確保し個人情報を守ります。

他の施設を受診するときに、診療内容や処方した薬などの情報が共有されます。

○×歯科 **××薬局** **○○病院**
 花巻市と北上市の施設を中心に、診療所や薬局、訪問看護ステーション、介護事業所、総合病院などが参加予定。

医療・介護のこんな不安ありませんか？

- ▶ 薬をたくさんもらっていて、同じ薬を処方されないか心配▶ 持病がいくつかあり、それぞれ別の医療機関で受診している▶ 飲んでいる薬や検査が多く、整理して医師に説明できない—など、医療・介護の不安を解消します。



段階的に参加施設を増やします

本年度中は花巻市と北上市の病院・クリニックのうち15施設(10月20日時点)がいわて中部ネットに参加。平成30年度は歯科と調剤薬局、訪問看護ステーション、31年度は介護施設と行政と、段階的に参加施設を増やしていく計画です。医療と介護をつなげる新しいシステムを早期に確立するためにも、各医療・介護施設の参加が期待されています。

いわて中部ネット参加者の四つのメリット

- ① 普段の受診に
いわて中部ネットに参加している複数の医療機関で治療や検査を受けている場合、それぞれの診療内容や検査結果、処方した薬などの情報が関係者間で共有されます。そのため、継続的に、より質の高い医療・介護サービスを受けやすくなります。
- ② いざというときに
救急搬送時など、これまでの診療内容や検査結果を正確に伝えら